

TalentX、採用ブランディングサービス「MyBrand」で構築した 採用オウンドメディアの累計 PV 数が 50 万を突破

～独自フレームワーク「WORCS」で“正しい理解”を促進し候補者との共感の輪が拡大～

株式会社 TalentX（本社：東京都新宿区、代表取締役社長 CEO：鈴木 貴史、証券コード：330A、以下「当社」）は、採用 DX プラットフォーム「My シリーズ」の採用ブランディングサービス「MyBrand」で構築した採用オウンドメディアの累計 PV 数が 50 万を突破したことをお知らせいたします。



日本企業における採用オウンドメディアの活用率は 6 割（※1）に達し、採用の主要施策として浸透が進んでいます。一方、採用競争が激化する中で、企業の魅力をアピールするだけでは候補者の意思決定につながりにくく、候補者との認識ギャップを埋め「正しい理解」を伝える採用ブランディングの重要性が高まっています。

「MyBrand」は 2024 年 1 月の提供開始以来、当社独自のフレームワーク「WORCS（※2）」を通じて多様な企業の価値を伝える採用ブランディングを支援。その結果、累計 PV 数 50 万、導入企業において直帰率（単一ページでサイトを離脱する率）20～30%という低水準の記事を多数輩出するなど、候補者の「正しい理解」に基づいた共感の輪が大きく拡大しています。

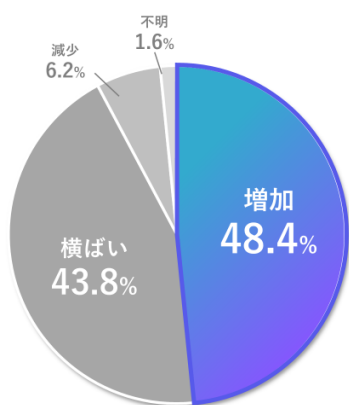
※1 出典：TalentX「採用オウンドメディアに関する実態調査（2024 年）」

※2 参考：https://mytalent.jp/lab/article_evp/

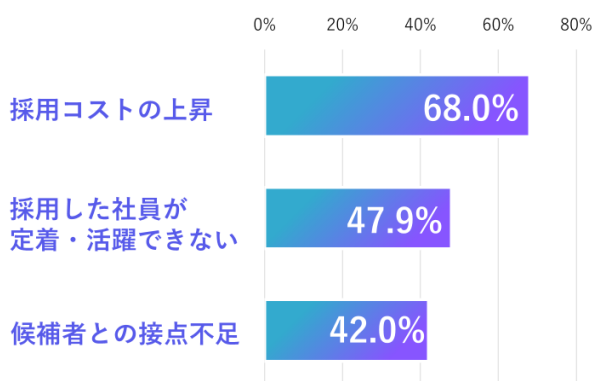
■更に高まる採用オウンドメディアの需要と背景

採用オウンドメディアを利用する日本企業の約 5 割が予算を前年より多く投下している中、採用現場では採用コスト上昇、採用した社員の定着や活躍、候補者との接点不足が依然課題となっており（※3）、魅力のアピールから脱却し、候補者の価値観に最適化された情報の重要性が高まっています。

Q. 採用オウンドメディアの予算増減（n=64）



Q. 採用現場で感じている課題（n=219）



※3 出典：TalentX「採用マーケティングに関する実態調査（2025 年）」

■採用ブランディングサービス「MyBrand」の価値

「MyBrand」は採用広報の経験が少ない担当者でも、採用オウンドメディアを手軽に作成可能。企業独自の「正しい価値」を導く「WORCS」により、本質的な採用ブランディングを実現します。

- (1) 最短 30 秒で理想の採用オウンドメディアを作成
- (2) テンプレートでコンテンツ・求人を素早く更新
- (3) ページが Google 検索に自動最適化
- (4) 「Google for Jobs」連携で求人の露出・流入を拡大
- (5) 独自フレームワーク「WORCS」により自社の「らしさ」を整理し、正しい価値を言語化

さらに、「My シリーズ」の AI 採用 MA サービス「MyTalent」やリファラル採用サービス「MyRefer」と連携することで、候補者のファン化、タレントプール運用、応募獲得までを一気通貫で支援。相乗効果により、企業の採用マーケティング全体の価値を高めることができます。

(ブランドサイト：<https://mytalent.jp/brand/>)

■TalentX について

株式会社 TalentX は、日本初のリファラル採用プラットフォーム「MyRefer」から事業を開始し、AI で採用マーケティングを支援する「MyTalent」、採用ブランディングを支援する「MyBrand」など、採用 DX プラットフォーム「My シリーズ」を展開しています。また、テクノロジーのみに留まらず、採用戦略の設計と伴走支援をする戦略 RPO サービス、プロフリーランス人事サービス「すごい人事」など、戦略人事の実行支援サービスを提供しています。テクノロジーと戦略、実行支援を掛け合わせることで、企業の採用マーケティングによる変革をリードし、人と組織のポテンシャルを最大限に引き出す社会の実現を目指しています。

【会社概要】

社 名：株式会社 TalentX（証券コード：330A）

所在地：〒162-0825 東京都新宿区神楽坂 4-8 神楽坂プラザビル G 階

代 表：代表取締役社長 CEO 鈴木 貴史

設 立：2018 年 5 月 28 日

会社 HP：<https://talentx.co.jp>

「My シリーズ」サービス HP：<https://mytalent.jp/>